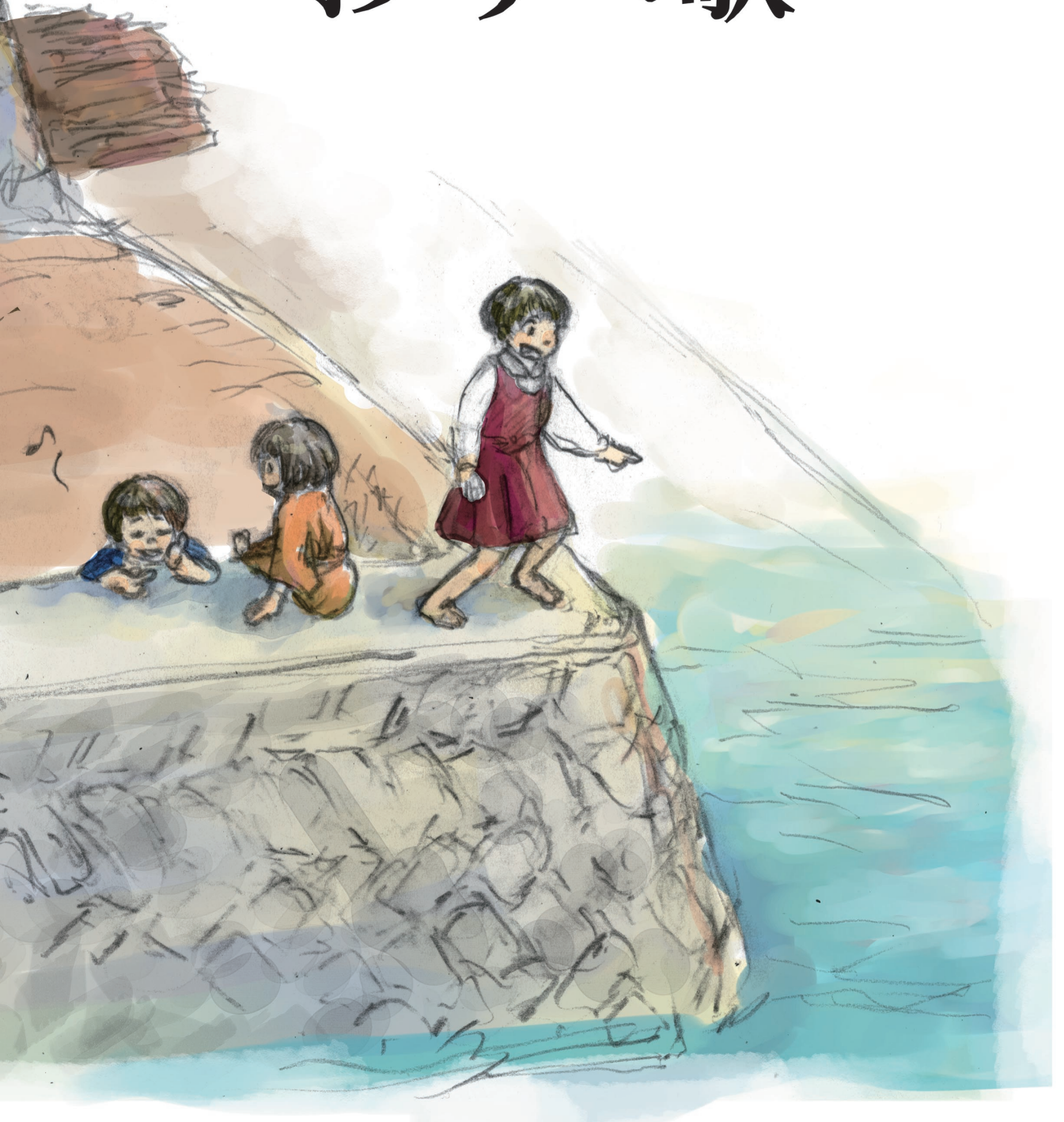


泡瀬の わらべ歌



あいさつ

琉球の島々では、祭祀で歌われる歌から楽しみとして歌われる民謡まで、生活のさまざまな場に応じ琉球のことばと独自の節回しで歌われる音楽が伝えられています。

こどもたちも、遊びや手伝いの中でいくつもわらべ歌を自然と聞き覚え、歌っていましたが、こうしたわらべ歌は社会の変化とそれに伴う言語と暮らしの変化に伴い歌われることが少なくなり、現在の子どもたちは伝統的なわらべ歌のほとんどを知らずに育っています。

しかしながら、わらべ歌は、伝統的な音楽様式や言語に加え、かつてのこどもたちの世界と文化を生き活きと伝えてくれる貴重な資料です。

沖縄市教育委員会ではこうした貴重な資料であるわらべ歌を記録保存するため、1988年から2002年にかけて、市内の明治後半から昭和初期生まれの高齢者をたずね、こどもの頃に歌った歌を思い出して歌ってもらう調査を実施しました。

本書は沖縄市泡瀬地域での調査の成果を取り上げて「泡瀬のわらべ歌」としてまとめたものです。市民の皆様に、郷土の文化を知り・親しむ手がかりとして本書をご活用いただければと存じます。

結びに、本書の作成にあたり、調査にご協力いただいた歌唱者はじめ地域の方々、調査と執筆に当たられた比嘉悦子先生に厚く御礼申し上げます。

2023（令和5）年3月

沖縄市教育委員会

教育長 比嘉 良憲

はじめに

I 「泡瀬のわらべ歌」について

- (1) 「泡瀬のわらべ歌」は沖縄市泡瀬のわらべ歌調査で採集された歌から代表的な歌を45曲選んで掲載しました。この45曲には、わらべ歌以外に、行事や信仰に関わる歌謡、民謡、となえ言葉、小学校で覚えた歌なども含んでいます。
- (2) 歌の選定においては、採集歌全体のなかでバランスを考慮しつつ、旋律のより確実な歌、そして多くの人々、特に次代を担うこどもたちに歌い継いでほしい歌を優先して選択してあります。
- (3) 同じ歌でも、地域によって旋律が多少変化して歌われる歌があり、その場合は、地域の特徴を出すために別曲として独立して掲載しました。
- (4) 歌唱者については、巻末の「泡瀬のわらべ歌調査月日別一覧表」に歌唱者名を掲載してありますので、参考にしてください。

II 調査について

- (1) 沖縄市のわらべ歌調査は1988年に開始しました。
- (2) 泡瀬での調査は1990年から1993年にかけて、泡瀬・泡瀬三区在住の高齢者を対象に10回行なわれました。
- (3) 採集歌は212歌が採集されました。なお、採集された歌数にはわらべ歌だけではなく、ハーリーや綱引き、盆などの年中行事の際に歌われる歌9歌、龜の仕立て祝いなど祝い歌2歌、小学校で覚えた歌1歌、ことわざ5歌、言葉遊び2歌、唱え言葉2歌、その他の民俗歌謡36歌が含まれています。歌唱を曲とせず、歌として数えたのは、旋律のない唱えや、歌詞のみの歌も採集歌として数えたためです。歌唱を曲とせず、歌として数えたのは、旋律のない唱えや、歌詞のみの歌も採集歌として数えたためです。

III 調査および編集担当

調査	比嘉悦子、宮城昭美、波平裕子、波平節子
採譜	比嘉悦子
資料整理	宮城昭美、八田夕香
編集	比嘉悦子、八田夕香
イラスト	八田夕香



凡例

I 歌詞と表記について

- (1) 掲載されたわらべ歌は、子守り歌、あやし歌、まりつき歌、遊び歌、動物・植物の歌、自然・天体の歌、教訓歌、からかい歌、歳時の歌、その他に分類した。
- (2) 表題は歌いだしの句をとってつけたものが多いが、動物・植物の歌は歌われる内容に添って編集者が表題をつけた。
- (3) 歌詞は漢字仮名まじり文で表記し、漢字には歌唱者のなまり音のままルビをふった。漢字が当てられる箇所には漢字を用いたが、無理な当て字は避けた。
- (4) はやし言葉、擬音についてのみカタカナで記した。
- (5) 歌詞の表記の中で、のばして歌う箇所は、長短の区別はせずに長音記号「ー」(引音)で示した。

II 楽譜について

- (1) 楽譜は五線譜を基本としたが、沖縄独特な音程や歌唱法を表現するために特殊な記号を追加して用いた。

例) ・  の表記は音程の定まらない唱えや掛け声をあらわす。
・  は歌尻を下げる唱法を示す。

- (2) 採譜は採録時の歌唱者の歌をできる限り忠実な形で再現できるように配慮したが、調律は一般の人々、特にこどもたちの歌いやすい高さにあわせて作譜した。
- (3) 民謡調査においては、歌唱者から歌にまつわるさまざまな生活状況を聞き取りながら歌を録音していくが、時には歌唱者が突然歌い出したり、歌の途中で中断し、次に続く歌詞を思い起こしてまた歌い出すこともしばしばあった。そのような歌は、他の類似曲を検討の上、採譜者によって加筆し、補足した。
- (4) 楽譜につけられたメトロノーム表記は、採録時の歌唱により近い速度を示したものである。歌唱者のほとんどが高齢者であるため、こども時代に歌われた歌が必ずしもその速度であったかどうかは断定できない。歌を再現する時は、楽譜に記載された速度にとらわれないでもよいと思う。

目次

あいさつ	1
はじめに	2
凡例	3
目次	4

《子守り歌》

① 耳 ^{みみ} 切り坊 ^ぼ 主 ^じ の歌	7
② いったーあんまーまーかいが	8

《あやし歌》

③ イッシングー	9
④ 赤 ^{あか} 田 ^た 首 ^す 里 ^ん 殿 ^ど 内 ^ち	10
⑤ イーユータークー	10

《まりつき歌》

⑥ ていーちえー天 ^{ていん} ばる	11
⑦ いえーあんまー	12
⑧ いっくわていたみゆ	13

《遊び歌》

⑨ イッチクタッチク	14
⑩ イッポーカッポー	15
⑪ おならの歌（鬼決め）	16
⑫ いっとうがよー（おはじき歌）	16
⑬ いったー主 ^す や（おはじき歌）	17
⑭ ミンパーカンパー（ぶらんこの歌）	18
⑮ 天 ^{ていん} ぬはーめーぐわー	18

《動物・植物の歌》

- ①⑥ いさとうー（かまきり） 19
①⑦ ちんなん（かたつむり） 19
①⑧ ほたるの歌 20
①⑨ あじけー（しゃこ貝） 21
②⑩ ありの歌 21
②⑪ 片爪蟹ぐわー（泡瀬瀉原ぬ）^{かたじみがい あーし かたぼる} 22
②⑫ 牛・馬・山羊の歌 23
②⑬ さーじゃー（鷺）^{さぎ} 23
②⑭ からすの歌 24
②⑮ 芋ぬ葉やんぶち^{いも ぬは} 25

《自然・天体の歌》

- ②⑯ とーとーめーよー 26
②⑰ あーかーなー 27
②⑱ あぬ星ていーち^{あし} 28
②⑲ 雨 どーやー^{あめ} 28

《教訓歌》

- ③⑩ 親ぬ言るくとう聞かんわらべー^{うや} 29
③⑪ ていんさぐぬ花^{はな} 29

《からかい歌》

- ③⑫ 堂ぐわー屋敷ぬたんめー^ど 30
③⑬ 喜屋武ぐわーたんめー^{ちやん} 31
③⑭ あまから来ーる美らじゅりぐわー^{ちゆ} 32
③⑮ 昔ぬひっちょー^{んかし} 32

《歳時の歌》

- ③⑯ いい正月やー^{そくごち} 33
③⑰ にんぶちやからに 34

《その他》

③⑧	いったーとーとーめーとう	36
③⑨	御 ^ぐ 嫡 ^{ちやく} 子 ^し	37
④⑩	唐 ^と やかんぷー	37
④⑪	北 ^{ちや} 谷 ^{ちん} 屋 ^や 良 ^ら 村 ^{むら}	38
④⑫	泡 ^あ 瀬 ^し やっちーたー	39
④⑬	雷 ^{らい} よけの呪 ^{まじ} 文 ^{まじ}	40
④⑭	地震 ^{ちゆ} よけの呪 ^{まじ} 文 ^{まじ}	40
④⑮	美 ^び 東 ^{とう} 尋 ^{じん} 常 ^{じょう} 小 ^{しょう} 学 ^{がく} 校 ^{がう} 校 ^{がう} 歌 ^か	41
	泡 ^あ 瀬 ^し のわらべ歌 ^{うた} 調 ^{てう} 査 ^さ 月 ^{げつ} 日 ^{じつ} 別 ^{べつ} 成 ^{せい} 果 ^{くわ} 表 ^{ひょう}	42

① ^{みみち ぼーじ} 耳切り坊主の歌

♩ = 92



うふむらうど^んぬ かどうなかい みみちりぼーじぬ



た^つ ちよ^んどー なーちゆるわらべー みみぐすぐす



へいよー へいよー なく^なよー うみーがうみーが



しかすんど じた^ぐわん さば^ぐわん くますんどー



へいよー へいよー なく^なよ

^{うふむらうど}

大村御殿ぬ かどうなかい

^{みみち ぼーじ}

耳切り坊主ぬ 立^たちよんどー

^な

泣ちゆるわらべー 耳^{みみ}ぐすぐす

へいよー

へいよー

^な

泣く^なよー

うみーが うみーが しかすんどー

^{じた}

下駄^ぐ

わん

^{さば}

草履^ぐ

わん

く

ます

んどー

へいよー

へいよー

^な

泣く^なよー

② いったーあんまーまーかいが

♩ = 80

いったあんままかいが ー ベーベぬくさかいが
ベーベぬまさぐさやはーるぬわかみんな
あんどわ そーてい

The image shows three staves of musical notation in 3/4 time with a key signature of one flat (B-flat). The tempo is marked as quarter note = 80. The lyrics are written below the notes. The first staff contains the first line of lyrics, the second staff contains the second line, and the third staff contains the third line. The lyrics are: いったあんままかいが ー ベーベぬくさかいが, ベーベぬまさぐさやはーるぬわかみんな, あんどわ そーてい.

いったーあんまー まーかいが

ベーベーぬ ^{くさか}草刈いが

ベーベーぬ ^{ぐさ}まさ草や

^{はる} ^{わか}畑ぬ若みんな

あんどわー そーてい

③ イッシングー

♩ = 112

イッ シン グ は な た た ち や や ん ば る ぶ に ぬ

い っ ち ょ ん ど あ か し ん た む ぬ ん こ み そ ら に

と う な い ぬ は め に か た ん な よ あ り が る た む ぬ ん

あ が ら す く と う シ ク テ シ ク

イッシングー はなたちちやー

やんばるぶに い
山原船ぬ 入っちょんごー

あかしん たむぬ こ
あかしん 薪物ん 買みそーらに

とうない かた
隣ぬはーめーに 語んなよ

あ たむぬ あ
あ 薪物ん 上がらすくとう

シクテー シク

④ ^{あかた すんどうんち} 赤田首里殿内

♩ = 108



あ か た す ん - どう - ん ち - く が に どう る



さ が てい う り が あ か - が い ね



み る く ゆ が - ふ シ ヤー プ - シ ヤー プ

あかた すんどうんち くがにどうる さ
赤田首里殿内 黄金灯籠 下がてい

あか りが明がいねー みるくゆがふ
うりが明がいねー 弥勒世界報

シーヤープー シーヤープー

⑤ イーユータークー

♩ = 96



イ ユ タ ク シ シ メ メ ト フ う ま から う じ ん ぬ し ち ゃ から



む し ぐ わ ぬ ほ てい クイ クイ クイ

イーユータークー シーシー メーメー トーファー うまから

うじん しちゃ むし ほー
御膳ぬ下から虫ぐわぬ這てい クイクイクイ

⑥ てい—ちえ—^{ていん}天^{ていん}ばる

♩ = 126



てい—ちえ—^{ていん}天^{ていん}ばる た—ちえ—^{たなばる}棚^{たなばる}原

み—ちえ—^{ゆなばる}与^{ゆなばる}那^{ゆなばる}原 いちちえ—いちかし

む—ちえ—むんばら ななちえ—^{ながはま}長^{ながはま}浜

や—ちえ—^{やんばる}山^{やんばる}原 くくぬちえ—^{くんじゃんぶに}国^{くんじゃんぶに}頭^{くんじゃんぶに}船^{くんじゃんぶに}から

^{なふあたび}那^{なふあたび}霸^{なふあたび}旅^{なふあたび}と—う—れ—

^{なふあ}那^{なふあ}霸^{なふあ}ぬ^{なふあ}が^{なふあ}じ^{なふあ}ゃ^{なふあ}の^{なふあ}— ^くう^くち^くゆ^く喰^くえ^く—^{じゆ}強^{じゆ}—さ^{じゆ}ぬ

^{うみ}海^{うみ}ぬ^{うみ}は^{うみ}な^{うみ} けん^{うみ}けん^{うみ} さ^{うみ}く^{うみ}ぬ^{うみ}は^{うみ}な^{うみ} けん^{うみ}けん^{うみ}

⑦ いえーあんまー

♩ = 108



い^えー あ^んま^ー に^つた^ーか^まど^うー^ぐわ^ーや

ど^んど^ん ^びら^から ^うり^たい ^ぬぶ^たい

わ^た ^や ^ちぶ^る ^や
腹^ぬ痛^りど^ー 頭^ぬ痛^りど^ー

い^さ
医^者ーい^さい^さ や^ぼーや^ぶや^ぶ

か^かた^ん て^ーま^ん ^のー^ちん と^うら^さん

あ^とー ^くし^ぬか^まど^うー^ぐわ^ーが ^のー^ちと^うら^ちえ^ーた^ん

う^りが^うん^じえ^ー ^うく^たが

じ^ん ^しぐ^るつ^くわ^ん ^くみ ^いつ^すに^す ^うく^た
銭^ぬ四^五六^貫 米^ぬ一^升二^升 う^っさ^送や^びた^ん

⑧ いっくわていたみゆ

♩ = 104



いっくわていたみゆ いちむんぬ ななぬやぬ



くまぬいながわぬ ちるぐわや しんじゅぐんじゅなるまでい



うとうんむたさん やーんぬくんど んなむじでいきらち



むたさや ちるぐわ ちるぐわあんしみそりよ あんま あんま

いっくわていたみゆ

いちむん なな やー
一門ぬ 七ぬ家ぬ

くまぬ^{いなが}女んぐわぬ ちるぐわーや

しんじゅぐんじゅ うとう む
四十五なるまでい 夫ん持たさん

やーん んなむじでいき
来年ぬくんどー 稲麦出来らち

む
持たさやー ちるぐわー ちるぐわー

あんしみそーりよー あんまー あんまー

⑨ イッチクタッチク

♩ = 92

イッ チクタッ チク じゅにかにか ちくむく ちんぼらぐわ
 う どん ぬ く し う てい み く - てい こん
 く る が エイ

イッチクタッチク じゅーにかにーかー

ちくむく ちんぼーらーぐわー

うどん くし
 御殿ぬ後うてい みーくーてい

こんくーるが エイ

⑩ イッポーカッポー

♩ = 108



イッポカッポ じゅにかにか ちくむく ちんぼらぐわ うどんぬ



くしうてい みく てい こんく るがエイ ぐじゃぬか



ぐじゃぬか ぐじゃぬ たつ ちよる まかてが じゅ しち



くらひちすん かみんじゃり ぶ ひき

イッポーカッポー じゅーにかにーかー

ちくむく ちんぼーらーぐわー

うどん くし
御殿ぬ後うてい みーくーてい

こんくーるが エイ

ぐじゃぬか ぐじゃぬか

ぐじゃぬ^た立っちよる

まかてーが^{じゅーしち}十七 くらひちすん

かーみんじゃーり ぶーひき

⑪ おならの歌（鬼決め）

♩ = 108



くぬ ひ や た が ひっ ちやるひ しまぶくま やが ひっ ちやる ひ

ひー たー ひー しまぶくまやー ひー
くぬ屁や 誰がひっちやる屁 鳥袋猫が ひっちやる屁

⑫ いっとうがよー（おはじき歌）

♩ = 100



いっとうがよ にとうがよ さんとうがよ しとうがよ ごとうがよ



ろくとうがよ ななとうがよ はっとうがよ きゅうとうがよ じっとうがよ

いっ にー さん しー ごー
一とうがよー 二とうがよー 三とうがよー 四とうがよー 五とうがよー

ろく なな はっ きゅう じっ
六とうがよー 七とうがよー 八とうがよー 九とうがよー 十とうがよー

⑬ いったー主^{すー}や (おはじき歌)

♩ = 96



いったす や ぬ な が さんら な あんしえ な い な や さ

いったー主^{すー}や ぬ^{な-}一名が

さんら^{な-} 三良名

あんしえ^{な-}ーな^{な-}ー い^{な-}一名やさ



⑭ ミンパーカンパー (ぶらんこの歌)

♩ = 80



ミンパーカンパ うちちゅーあがらち な ひんあがらわ ていんにあがり

ミンパーカンパー う^{ちち}月^あゆー上がらち

なーひん^あ上がらわ ^{ていん}天^あに上がり

⑮ ^{ていん}天ぬは一めーぐわー

♩ = 116



^{ていん}天ぬはめぐわや み ゆみみ らに あぬちちまんたん くぬちちまんたん

^{ていん}天ぬは一めーぐわーや ^み見ーゆみ ^み見ーらに

あぬ^{ちち}月まんたん くぬ^{ちち}月まんたん

①⑥ いさとうー (かまきり)

♩ = 92



いさとう いさとう かん も り ゆ びぬぬくえ ぬ くわたが



あかま み る くわた る だん じゅがだん じゅが くすばらばら

いさとうー いさとうー かんもーりー

ゆーび ぬく ぬーくわ
昨夜ぬ残えー ぬー喰たが

あかまーみー くわ
赤豆る喰たる

だんじゅが だんじゅが くす
糞ばらばら

①⑦ ちんなん (かたつむり)

♩ = 120



ちんなん ちんなん ぼ ふいた んまが しかさん ゆみしかち

ちんなん ちんなん ぼーふいた

んまが 孫ーしかさん ゆみ 嫁しかち

⑱ ほたるの歌

♩ = 120



♪ じん じん やま さき さ た や ぬ め ん じ く くわ て い う て い り



よ じん じん さ が り よ じん じん

じん じん ^{やま}山 さき ^{さ た や}砂糖屋ぬ ^め前んじ ^{く-くわ}粉喰てい

^う落ちていりよー じん じん ^さ下がりよー じん じん

⑱ あじけー (しゃこ貝)

♩ = 80



あじけーぬ ^{すー}主よー ^{すー}主
^{うす}潮ん ^み満ちゆれーよー ^{あか}赤ん ^{ぐわ}子ぬ ^な泣ちゆれーよー
 ゆるちくいみそーれー



⑳ ありの歌

♩ = 116



^{あい}蟻こー ^{あい}蟻こー ^{どうしゆ}友呼でいくー
^{めー}がにくぬ前んじ ^{がにや}蟹焼ちくいら

②1 ^{かたじみがい} 片爪蟹ぐわー ^{あーしかたばる} (泡瀬潟原ぬ)

♩ = 116



^{あーしかたばる} 泡瀬潟原ぬ ^{かたじみがい} 片爪蟹ぐわー ^{びさ} むる足ちんうてい

あちゃか ダーヤー あさてい

サー ^{いちむん} ー門 ^す 揃りとーてい ^{いさ} なー医者がかい

サー ^{がに} 蟹ぐわー ^{がに} 蟹ぐわー ^{びさ} むる足 ちんうてい



②② 牛・馬・山羊の歌

♩ = 80



うし はな うま
牛や鼻ふがち 馬やむげーはきてい

あきよー ひ-じゃー くび
あきよー 山羊ぐわー ま首くんらつてい



②③ さーじゃー (鷺)

♩ = 88



いえーひゃー さーじゃー

くーべ たー ちゆく
いやー首ー 誰が作たが

あんまー すー ちゆく
あんまー 主が 作いやんてい

②④ からすの歌

♩ = 132



い くとうかたりよ やなくとうい ね いや うい ど や

いーくとう^{かた}語りよー やなくとう^い言ーねー いやー^{ういー}上どーやー

②5 ^{んむ ふぁー} 芋ぬ葉やんぶち

♩ = 84



んむぬふぁや - んぶち - だきぬふぁや だかち



すていちばぬ - なかぐ うむいみそーり



うむたらわ - さとうめ - しまとうめ てい い もり



しまやなか - ぐしく はなぬいしゃど

^{んむ ふぁー} 芋ぬ葉やんぶち ^{だき ふぁー だ} 竹ぬ葉や抱かち

^{すていちば} 蘇鉄葉ぬなかぐ ^{うむ} 思いみそーり

^{うむ} 思たらわ里前 ^{さとうめー しま} 島とうめーていいもり

^{しま なかぐしく はな いしゃどー} 島や中城 花ぬ伊舎堂

②⑥ とーとーめーよー

♩ = 138



とーとーめーよー とーとーめー

まーかいめんしえが とーとーめー

くぶしぬ^{はま}浜かい ^{がにとう}蟹取いが

^{がにとう}蟹取てい ぬーすが

^{うむ}わー思やーに ^{くい}んてー

いやー^{うむ}思やーや ^{たー}誰やが

^{じゅーぐや}十五夜^{ちち}う月^{ちち}ゆーやみせんどー

②7 あーかーなー

♩ = 132



あ かな よー あ かなー ま かい めん しえが あ かな



とうないぬはまかい がにぐわ とういが うん じよ めん そー らに



がにぐわ とうてい ぬ すーが わ うむや に くい ゆんて



いや うむや や た やーが とうん ちぬめ ぬ ちゅうらうくさん

あーかーなーよー あーかーなー

まーかいめんしえが あーかーなー

とうない はま がに とう
隣ぬ浜かい 蟹ぐわー取いが

うんじよーめんそーらに

がに とう
蟹ぐわー取てい ぬーすが

うむ
わー思やーに くいゆんてー

うむ たー
いやー思やーや 誰やが

とうんち めー ちゅ うく
殿内ぬ前ぬ 美ら奥さん

②⑧ あぬ星^{ふし}ていーち

♩ = 120



あぬふ^してい^ち わん^{てい} ち あぬふ^{した} ち わん^た ち



あぬふ^{しみ} ち わん^み ち あぬふ^{しゆ} ち わん^ゆ ち



あぬふ^{しい} ち わん^{いち} ち

あぬ星^{ふしていー}一^ち わん^{ていー}一^ち あぬ星^{ふしたー}二^ち わん^{たー}二^ち

あぬ星^{ふしみー}三^ち わん^{みー}三^ち あぬ星^{ふしゆー}四^ち わん^{ゆー}四^ち

あぬ星^{ふしいち}五^ち わん^{いち}五^ち

②⑨ 雨^{あーみー}どーやー

♩ = 100



あ み ど やー た ば ぬ す た ば ぬ や ん じ く わ き り よ

あーみー 雨^{あーみー}どーやー たーぼ すー 田^{たーぼ}場^{すー}ぬ^{すー}主^{すー} たーぼ やー 田^{たーぼ}場^{やー}ぬ^{やー}家^{やー}ん^{やー}じ く^{くわ}き^きり^りよー

③⑩ ^{うや}親^ゆぬ^ち言^ちるくとう聞^ちかんわらべー

♩ = 112



うやぬゆるくとう ちかん わらべ いちまん ゆみなち



かみぬあんだこ みそり かみぬあんだこ みそり

^{うや}親^ゆぬ^ち言^ちるくとう 聞^ちかんわらべー ^{いちまんゆみ}糸満嫁なち

^{かみ}髪^{あんだ}ぬ^こ油^こ一 買^{かみ}一^{あんだ}み^こそーり ^{かみ}髪^{あんだ}ぬ^こ油^こ一 買^{かみ}一^{あんだ}み^こそーり

③⑪ ていんさぐぬ^{はな}花

♩ = 116



ていんさぐぬ は 一な や ち みさち に す み てい



う やぬゆーし ぐ 一とう や ち むにすーみ り

ていんさぐぬ^{はな}花や ^{ちみさち}爪^す先に染みてい

^{うや}親^{ちむ}ぬ^すゆしぐとうや ^す肝に染みてい

③² ^{どー}堂ぐわー^{やしち}屋敷ぬたんめー

♩ = 112

どぐわーやしちぬたんめーさい あたびーとういがー

めんそーらに うむにーかでいから いちゅーさ

わんにんいちゆくとう まーちよーけ またんまた

ん

^{どー}堂ぐわー^{やしち}屋敷ぬたんめーさい

^{あたびーとう}蛙取いが めんそーらに

^{うむにーか}芋練食でいから ^い行ちゅさ

わんにん^い行ちゆくとう ^ま待っちょーけー

^ま待たん ^ま待たん

③③ ^{ちゃん}喜屋武ぐわーたんめー

♩ = 108



ちゃんぐわたんめ ぬんち^{にん}とーが さきくわ^{てい}



にん とーさ ちゅーんくわ^れ あちゃんくわ^れ

^{ちゃん}喜屋武ぐわーたんめー ぬーんち^{にん}寝とーが

さきくわ^{てい} 寝とーさー

ちゅーくわ 今日ん喰れー あちゃんくわ^れ 明日ん喰れー

③4 あまから来^{ちゆ}ーる美^{ちゆ}らじゆりぐわー

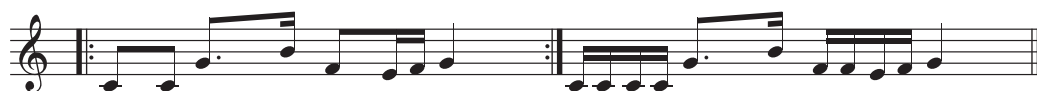
♩ = 69



あまからちゆ る ちゆらじゆりぐわー しん だん ぎ から け うていてい



よ じよ ひ じよ ー する え ま こーーぐちん まが てい



シ ヤプ ー シ ヤープ わたぶとうめ ー わたぶとうめ
み みんめ ー み みんめ

あまから来^{ちゆ}ーる 美^{ちゆ}らじゆりぐわー 梅^{しんだんぎ}檀木^ーから け^うー落^うていてい

ゆーじよー 養生^{ゆーじよー}ひーじよー するえーま 腰^{こーぐ}ちん^ま曲^まがてい

シーヤープー シーヤープー みーみんめー みーみんめー

わたぶとうめー わたぶとうめー

③5 ^{んかし}昔ぬひっちょー

♩ = 88



んかしぬひっちょ ふりむん や ンまが しかさん ゆみしかち

^{んかし}昔ぬひっちょー ^{んかし}ふりむんやー ^{んまが}孫^{ゆみ}ーしかさん 嫁^{ゆみ}しかち

③⑥ ^{そーぐわち} いい正月やー

♩ = 104

い そーぐわちや んめーんたん めん わかみじとうみそ

ち いやーん わかくなたら や ひゃ わっ たん

わかくなてい ちゅーやたぬしみ あしびん だな

んまがぬちやーあち みてい

^{そーぐわち}
いい正月やー

んめーん たんめーん ^{わかみじとう} 若水取りみそーち

^{わか} いやーん若くなたらやーひゃー

^{わか} わったーん若くなてい

^{ちゅー たぬ あし} 今日や楽しみ 遊びんだな

^{んまが あち} 孫ぬちやー集みてい

37) にんぶちやからに

♩ = 66



にーんぶー ちー ー ー やー かーらー ー にー ゆー
あーかぶー ちー ー ー うー ー んーまー ー にー かー



ー まー ー りーゆー ー ー いー しー るー
ー たー ー みーらー ー ー ていー ていー だー



ぶー ー ー ー ちー やー かー らー にー ぬー ー ー
ぬー ー ー ー ー まー ひー るー ー まー にー うー ー ー



しー ー ー ー らー りー ー ていー スー ー ー りー ー ー うー ー ー まん
くー ー ー ー ー らー りー ー ていー



にー んー ぬー しー んー かー ー やー うー



じょー まー ー ー ー ていー ー んー なー ちー



ふー ー ー ー ー ゆー ー ていー ー らー ー すー ー るー にー ー ー



ていー ー ー ー ぬー ふあー ゆー くー りまー ー ー ていー ー ー しー



ー ちー ぐわー ー ちー なー ー かー ぬー とうー ー ー かー

にんぶちやからに 読^ゆまりゆい

しる
白ぶちやからに 乗^ぬしらりてい

あか うんま かた
赤ぶち馬に 担^かみらてい

てい-だ ま ひる ま うく
太陽ぬ真昼間に 送^うらりてい

スリ う まんにん う じょー
御万人ぬしんかや 御門までいん

なちふゆてい にー ふあ
夏冬照らす 子^にでいぬ方ゆ

くりまでい しちぐわち なか とうか
くりまでい七月 中^なぬ十日

《編集註》

わらべ歌ではありませんが、貴重な資料と考えこの本に収録しました。

歌唱者は調査当時は泡瀬地区の在住でいらっしゃいましたが、ご出身はうるま市宮城島です。歌唱者によるとこの歌は葬送の様子を示したもので、歌唱者の母がお盆のときなどに先祖供養の念仏として歌っていたのを聞き覚えたとのことでした。

③⑧ いったーとーとーめーとう

♩ = 108



いった ととめとう わつ た ととめとう うえ かがやたら あん しにちよーる



や み とうどうやたが や

いったーとーとーめーとう

わったーとーとーめーとう

^{うえーか}親戚がやたら ^にあんし似ちよーるやー

^{みーとう}夫婦どうやたがやー

39 ^{ぐちやくし}御嫡子

♩ = 60



ぐちやくしやっ ち や ゆーか ていー こ じゃ うぶんどう うさがゆる



じ なん さん なん ー なから やん むるくわ ちー ど



スン サ ミ ー スン サー ミ スリ

^{ぐちやくし}御嫡子やっちーやゆかてい ^{うぶん}こーじゃー御盆どううさがゆる

^{じなんさんなん}次男三男なからーや ^{んむ}芋るくわっちーどー

スンサーミー スンサーミー スリ

40 ^{とー}唐やかんぷー

♩ = 108



とーやかんぷー やまと だん ぱち ーさらばうちな かたかしら

^{とー}唐やかんぷー やまと ^{だんぱち}断髪

^{うちな}さらば沖繩 かたかしら

④ 1 ちやたん や ら む ら
北谷屋良村

♩ = 100



ちやたん やらむら りんど あしやぎ — — りんど あしやぎ



ふいーた ちやーが たいたつ ちよん サ — サ うさぐわん かま



ぐわん くく りり — — よ いった — たいや

ちやたん や ら む ら りんどー りんどー
北谷屋良村 伝道あしやぎ 伝道あしやぎ

ふいーたーちやーが たい た 二人 立っちよん

サーサ うさぐわん かまぐわん 心得りよ

いったー たい 二人や

④^{あーし} 泡瀬やっちーたー

♩ = 104



^{あーし} 泡瀬やっちーたーが でいちゃでいちゃしーねー

んぱんぱーすなよー

ありが ふちゆくるや

サー ^か香ばし ^{あんだ}油ぬ ^{にう}匂いぬ ^い入っちよんどー

サー ふんぬか やーひゃー まるみかなー

④③ 雷よけの呪文

ありひゃー ^{かんない} 雷どーひゃー

^{くわーぎ} 桑木ぬ ^{しちや} 下でーびる

④④ 地震よけの呪文

^{じしん} 地震どーひゃー とーちか とーちか

ありひゃー ^{ねー} 地震ぬ ^ゆ 揺いんどーひゃー

とーちか とーちか

45 ^{びとう} 美東尋常小学校校歌

♩ = 112



こ じ ゃ とー ば ら おー ざ と
古 謝 桃 原 大 里 と

た き ば ら ひ ゃー ご ん よ ぎ あ わ せ
高 原 比 屋 根 与 儀 泡 瀬

つ ど は ら か ら いっ せん よ
集 う 同 胞 一 千 余

ま な み ち
学 び の 道 を い そ し み て

《採譜者註》

歌唱者は速いテンポで歌っていますので、校歌らしいテンポにしておきました。

この歌は途中までしか歌われていないと思われるので、譜面には終止記号を付していません。

泡瀬のわらべ歌調査月別成果表

採集歌数：212曲

番号	歌者ID	歌者名	生年	出身地	1990年 7月2日	1990年 7月9日	1990年 7月30日	1990年 8月8日	1991年 3月4日	1993年 3月17日	1993年 3月24日	1993年 3月31日	1993年 4月6日	1993年 4月19日	計
1	2001	當山カメ	明治31(1898)	沖縄市泡瀬	39										39
2	2002	喜屋武千代	大正 9(1920)	与那城町宮城		10									10
3	2003	高江洲敏子	不明	不明		3									3
4	2004	石原カマド	明治28(1895)	沖縄市泡瀬		1									1
5	2005	佐久本トヨ	明治38(1905)	沖縄市泡瀬三区			7	1							8
6	2006	高江洲キヨ	明治39(1906)	沖縄市泡瀬三区			3	2							5
7	2007	佐久本嗣幸	明治39(1906)	沖縄市泡瀬三区				6	5						11
8	2008	普久原幸	大正 5(1916)	沖縄市泡瀬						24					24
9	2009	高江洲シズ	明治43(1910)	沖縄市泡瀬							18	16			34
10	2010	当真幸子	明治43(1910)	沖縄市泡瀬三区							18	8			26
11	2011	奥間ヒデ	大正 6(1917)	沖縄市泡瀬							17	7			24
12	2012	高江洲マズル	明治30(1897)	沖縄市泡瀬									26		26
13	2013	普久原ツル	明治28(1895)	沖縄市泡瀬										22	22

※歌唱数について

この表は歌者それぞれの歌唱曲数を示しており、1つの歌を複数の歌者で合唱している場合は歌者毎に1曲の歌唱として計数している。これによる重複のため、歌者毎の歌唱数の合計は採集歌数とは一致しない。

※※出身地について

調査当時に歌者から得た回答を修正を加えずそのまま記した。そのため、現行の市町村名や住居表示とは異なる地域名で記載されている場合がある。

沖縄市文化財調査報告書第52集

泡瀬のわらべ歌

令和5年(2023)年3月31日発行

発行 沖縄県沖縄市教育委員会

編集 沖縄市立郷土博物館

〒904-0031

沖縄県沖縄市上地 2-19-6

TEL098-932-6882

印刷 (有)曙印刷

沖縄県沖縄市泡瀬 4-31-15

TEL098-938-7884



2023年3月
沖縄県沖縄市教育委員会